

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 北九州市立鞆ヶ谷小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他（ ）

所在地 〒 804 - 0023  
北九州市戸畑区東鞆ヶ谷町4の1

E-mail sayagatani-e@kita9.ed.jp

Website <http://www.kita9.ed.jp/sayagatani-e/>

児童生徒数 男子 118名 女子 117名 合計 235名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（芸術文化・表現教育）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は本年度よりユネスコスクールとなり、総合的な学習の時間の内容をESDの観点から見直しながら、活動内容を改善・工夫し新たなテーマでの積極的な取組を進めている。校内研究では生活科・理科の教科学習の中で問題解決力や知的好奇心を育てると共に、主体的に学ぶ意欲向上にも力を注いでいる。昨年度ま

での福祉協力校・環境学習推進校としての継続的実践の蓄積と共に、今年度は新たな発信型の学習を企画し世の中とつながりをもつ視点も加えることができた。

地域と関わりをもち、「夢を形にする 夢が形になる ユネスコスクール韃ヶ谷」を合言葉に様々な実践を行うことが出来た。次年度は今年度の成果を生かし、効果的な連携学習やユネスコスクールのネットワークを活用して、ESDの推進校としての実践向上に努めたい。

以下、本年度の各学年の実践をまとめて紹介する。

① 1年生「たのしいあきいっぱい」 **幼小連携学習**

校庭や隣接する県営中央公園で秋みつけの体験学習をもとに、児童は遊び道具（どんぐりこま・自然物の素材を生かした作品）を工夫して作った。あきいっぱいランドに交流している保育園の園児を招待して楽しく遊ぶ活動を通して交流を図り、学習内容をパワーアップすることができた。

② 2年生「うごく うごく わたしのおもちゃ」 **異学年交流学習**

1年生を招待するといく目標を持ち、自分たちの考えたおもちゃを1年生と楽しく遊ぶ学習内容を設定した。動くおもちゃをつくり遊びながら友達の工夫に学び、さらに1年生と遊ぶことで、楽しさを共有する機会をつくることができた。この学習後に2年生は1年生に絵本の読み聞かせを自主的に計画して行うなど、学習機会を増やすことにもつながった。

※生活科ではこのような体験活動で、「いいねカード」「パワーアップカード」を利用して、共感的な学びを広げていく工夫を行っている。

③ 2年生「おせち料理を味わい、おせち料理の意味を学ぼう」 **食育関連学習**

区内で寿司店を営む料理長の協力で「おせち」をテーマに食育学習を継続実践している。おせち7品を小さな重箱に用意していただき、味わいながらそのおせちに込められた意味を教えていただくことで、食文化に関心をもつことができた。

④ 3年生「総合的な学習を始めよう」 **地域図書館利用推進教育**

総合的な学習の時間を開始するにあたり、地域図書館の利用を推進する機会をつくるために利用カード作成を促す。そしてカウンターでの貸し出し体験や図書館員による図書館利用ガイダンスを実施した。その中から読書週間中に企画された「1日子ども図書司書」に児童が1名応募して館内での司書体験ができた。

⑤ 3年生「昔のくらしを調べて体験しよう」 **博物館での実感体験教育**

3学期の社会科学習を広げて、「いのちのたび博物館」で昔の道具をみたりさわったりする機会を持てた。石臼で炒った大豆を挽いてきな粉を作る体験など、興味を広げる学習ができた。

⑥ 4年生「やさしさのある町づくり①」 **地域環境美化活動**

校区のほたる祭りの取り組みの歴史を知り、地域の環境美化の活動を市民センターでの解説スライドや館長さん・町内会長さんなどに話をしてもらい、地域づくりのあゆみを知り、地域学習に興味をもつことができた。その学習が契機となり、ほたる祭り前の休日に実施された清掃活動に自主参加する児童も多く、学習

したことが契機となり地域の美化活動が進んだ。

秋の美化花壇づくりでは、チューリップの球根植えを地域の年長者の方と共にを行った。この取組は今年度3回目となる継続的な環境美化の活動である。毎年4年生の体験学習として受け継がれている。

⑦ 4年生「やさしさのある町づくり②」 **福祉交流学習**

障害のある方を2回に分けて来校してもらった。まず視覚障害の方である盲導犬ユーザーと聴覚障害の方から話を聞き、別の日にさらに車いすユーザーの方からの話を聞いた。1日の暮らしを教えてもらうことで、障害者の生活や願いや希望や課題など直接に知ることができた。その体験をもとに、学習を深めて発表会を設定し話を聞かせていただいた3人の障害者の方と交流を深めることができた。なお、今回の授業はクラウドファンド（NPO法人生き方のデザイン研究所提案）をもとに賛同する市民の方の寄付で実現したものである。

⑧ 4年生「生き方のデザイン学習をしよう」 **キャリア教育**

NPO法人生き方のデザイン研究所（北九州市小倉北区）のサポートを生かし、寄付の授業・ドリームマップ学習に取り組んだ。ドリームマップづくりでは、ドリマ先生が講師として来校（3名）し1日かけて、自分の将来の夢を作成した。これをもとにして10才を祝う会で完成したドリームマップを発表し、生き方のデザインをみんなで共有することができた。

⑨ 4年生「創造力の銀河を旅する」 **芸術文化・表現教育**

北九州市では昨年度から市内の文化施設が連携して芸術文化事業を展開している。本年度は2回目で漫画ミュージアムと響ホールと芸術劇場が3館で連携企画をしたワークショップ校として本校が選ばれた。銀河鉄道999のアニメとピアニストが奏でる音楽をもとに、自分の銀河を創造するアートな学習となった。

児童の作品は響ホールのコンサート会場に展示され、ワークショップの授業の様子は、編集されて当日の会場での待合時間に流された。これは本校の表現教育を推進する有意義な学習となった。

⑩ 5年生「さやっこ保育士」になろう **保幼小交流・いのちの学習**

近隣の保育所・幼稚園での交流学習を通して、保育士体験をすることでいのちの大切さを考えながら体験学習を進めた。保育士体験を通して、実際の保育士に学びながら子どもたちにどんな関わり方をしていくかも考え、自分たちのアイデアを出して学びを生かす機会をつくることができた。

⑪ 5年生「再生可能エネルギー学習へ」 **エネルギー教育**

社会科学習とつなげて北九州市の再生エネルギーと関連して、経済産業省資源エネルギー庁が中心となって編集作成した「グリーンパワーブック」を用いた調べ学習を実施した。1人1冊の本を手にして学びを深めることができた。この本は図書室に保管して次年度以降も活用するようにしている。

⑫ 6年生「共通の未来へ 地球市民として生きる」 **平和・国際理解学習**

～ユニセフ・ユネスコの活動を学び発信する子どもへ～

長崎への修学旅行体験を生かし学習発表会でまとめて発表する機会をもつと共

に、北九州市の空襲の記録集（八幡空襲の被災者の証言記録）を読み感想文にまとめたり証言者に感想の手紙を書いたりして送ることで、戦後70年を迎える今、戦争体験を受け継いでいく機会となった。

北九州市から国連少年少女大使として国連本部を訪問した高校生をGTにして国際理解学習を実施した。学習まとめでは、鞆ヶ谷マイワールドとして、国連が持つ課題をGTが6つにしぼり、児童がその理由を考え発表することで意見を交流しながら学習を深めた。ここで6年生は一番の課題に「食料問題」をあげたが、世界では「子供の教育」が大きな課題であることも知った。どれも克服していく重要課題であることを確認して授業を終えた。このことを踏まえて学習後に、「ユネスコ協会連盟」のユネスコ寺子屋運動(書きそんじハガキを集めて送る)を紹介することで「自分にも身近にできる活動がある」ことが分かり、学んだことを生かして行動することへつなげることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)